



メッセージソングライター
かさこ33曲歌詞



1 70億分の1セカイ
2 あたりまえ
3 くらげの歌
4 世界はおもしろさであふれてる
5 人間動物園
6 人生交差点
7 からまわり
8 Over the Rainbow
9 I love I
10 Fly into the sky
11 stay in balance
12 明日にもなくなる肉体と魂
13 忘れゆく311
14 空想ロケット
15 情熱スマッシュ
16 一人より二人
17 さよならカミサマ

18 承認欲求
19 親離れ
20 普通の人
21 負け犬の歌
22 旅人
23 Say yes
24 切り裂きジャック
25 仲間
26 ママと共依存
27 新緑
28 波音ラブソディ
29 死者の町
30 きらめき
31 ないものねだり
32 夢舞台
33 勧善懲悪ヒーロー

70億分の1セカイ

小さな小さな小さな平凡どんなにどんなに幸せか
なくしてみなけりゃわからず なくした時には手遅れで
うざいと思った話も 余計なしつこい気遣いあるけれど
やさしさ思いの親切だったと 今さらわかってみたけれど
思いもよらない自然の猛威が 多くの命を奪いぼんやりした 記憶の中 必死で思い出探す
70億人の地球の中に 出会った奇跡に感謝したい どんなとこにだって 人住めるから
はじめて知った貴重な毎日 1秒でも 無駄にできない
時はいつだって 戻せないから 生きよう

毎日毎日毎日おんなじおんなじメンツで顔合わせ
見慣れた見飽きた見知ったメンバーいつもとまったく変わらない
異性のタイプも嫌いな食べ物なんでもかんでもお見通し
たまっていくのは互いの不満 ささいなことでもあら捜し
ふとした瞬間 ぱったりあの顔 見せなくなった今は
繰り返しの当たり前前のありがたみに気づく
そこにいるだけのうれしさを見失っていた後悔も 当たり前すぎて わからないまま
でもね今ならわかるんだ 永遠の別れを経験して どんな人だって出会った意味があったんだ
出口の見えない世界の中で 無邪気な笑顔に救われて
つらく悲しいことあったとしても 一人の出会いが世界を変える
目の前の大切な人を 笑顔にすること忘れずに 小さな幸せ 積み重ねてく
あたりまえの日々の愛しさを かみしめてくらすことできれば
くらい世界でも 光ともるから
70億人の地球の中に 生まれた奇跡に感謝したい
どうせ生きるのは 少しだから 精一杯 生きよう

あたりまえ

あたりまえのことが あたりまえにできなくて 悩み続けてた この10年
人としての定めをまっとうせよと プレッシャーにまいった
簡単なことだと 思ってたのに できなかった
いつもいつも他人と比較されてばかり 普通という名の呪縛に 何度も悩まされてた
自分にはもうムリ あきらめてたけれど
あきらめきれずに 一筋の奇跡にすがりついていた
歓喜にわいた瞬間 命が誕生する神秘 涙があふれるほど うれしかった
2度の死を乗り越え 生まれてきた小さな命
ぬぐいきれなかった 過去の絶望 希望に変わる

あたりまえのことが あたりまえになった日常
いつしかありがたみ 忘れかけてた あれほど望んでた 夢みたいな生活に
不平不満ばかり 探すようになっていった
手にした瞬間 新しいものばかり望みすぎてた
100%の理想ばかり 追い求め続けていた
この世の中に 完璧なんかない そこにあるものだけで幸せだって気づいた
舞い降りてきた宝物 見える世界が一変した
のどから手が出るほど欲しかったもの
夢みたいな出来事 目の前のこと信じられなかった
でもねこの世で一番 大切なもの 手にしているとわかった

自分の年とわが子の 年を数え比べながら いつまで見届けられるって考えてた
今までとは違う 新しい家族が加わった
長生きしたいなんて がらにもないこと思い始めてた
ここにあるあたりまえ そっと手をふれて

くらげの歌

悩んで迷って言い訳 完璧ばかりをめざして
自分の夢にフタし続けている
時代や社会のせいだと 被害者づらしてみせるけど
臆病なわが身を守ることばかり
可もなく不可なし毎日 不満はあるけどだんまり
現実逃避はネットでお決まり
道標なき 流されるだけの人生を 悟ったふりして 賢者気取ってる
変わらなきゃ今すぐに 情けない自分にさよならして
さあ世界へ旅立とう 心の壁をとりはらって
単純でいい 夢中なことをやればいい 屍みたいな人生よグッドバイ

自分に何ができるだろう？ 自分らしさって何だろう？
自分は誰かの役に立てるだろう？
頭でっかちで 自問自答ばかりしてたら
いつまでたっても何も変わらない
果てのない広い世界に 心ちっぽけな自分がいて
でも今すぐ動き出そう 希望の地図を広げて
恥という名のプライド捨てて 自分守るための囲い外して
晴れやかな青空の世界の舞台へ そこに立てばいい
果てしない旅路の中で 選択肢は無数にある
片道切符の人生だから やりたい道を選び取ればいい
ミスしたってなんてことない たどり着くまでやればいい
はったりでいい 行ってしまったもん勝ち
自分にウソつく人生よグッドバイ
単純でいい 夢中なことやればいい くらげみたいな人生よグッドバイ

世界はおもしろさであふれてる

空港降り立ち ふぁっと押し寄せる 現地の空気になぎる開放感
言葉違う景色違う人種違う 異次元の世界へ投げ込まれた
市場に紛れてかぐ匂い 路地に迷って見る生活
現地で飛び交う謎の奇声 360度刺激あふれていた
広い広い広い……世界 思いもよらない出会いがいっぱい まるでこの世はファンタジー
世界はおもしろさであふれてるって気づいた
狭い狭い狭い……自分の世界 場所にとらわれ行動しなけりゃ いつまでたっても変わらない
意識次第で可能性は無限大だって気づいた
ところが変われば常識ぶっとび 大きな悩みもはるか彼方へ飛んでゆく

通勤列車に毎日揺られて 苛立ち募らせ 不快気分 絶望感
朝がつらい仕事つらい会社つらい 毎日愚痴ばかりのオンパレード
ほんのちょっとだけでいい 通い慣れた道から外れ
普段と違った道行けば 新たな発見たくさん驚いた
つらいつらいつらい……社会 そんなにつらけりゃ今の生活とつととりセットすればいい
世界は選択肢であふれてるって知ったから
きれいきれいきれい……きれいな自分 そんなにいやなら必死で努力しムカつく自分を変えりゃいい
すべては自分の心の捉え方次第だから
貴重な時間をつまらん時間に 割いているほど 人生長くはない
いつまでブリンカーつけて走ってる？ 視界が狭けりゃ先行く道も限定されちゃう
広い広い広い……世界 まるでまるでまるでまるでまるでこの世はファンタジー
世界はおもしろさであふれてるって気づいた
狭い狭い狭い……自分の世界 もっともっともっともっと広がる心の宇宙
意識次第で可能性は無限大だって気づいた
世界を旅すりゃ価値観ぶっとび 1日1日楽しい日々が変わってゆく
つまらん人生演出している自分が変われば世界は変わってゆく

人間動物園

なぜなぜなぜ脱走しない だってだってだって鍵は開いてる
みんな知ってる ここを抜け出せることを
でも出てかない だって寄生虫みたいにラクだから
食う寝るだけが唯一の楽しみ 言われた通りにやればいい
寄らば大樹の陰に隠れて 単純作業の毎日がいい
機械の方がはるかに優秀 わかっちゃいるけど誰も言わない
檻は満室 エサは少なく このままいけばみんな全滅 デイストピア

いつ どこ 未来 何も変わらない 新規参入やだ 負けてしまうから
限られた場所 醜く奪い合っている
もう窒息しそう だって誰もここから出てかないから
客は見飽きて倒産寸前 檻にしがみつくんぐんぐん
昔覚えた一発芸だけ それで助かると勘違い
野生失い 本能忘れて 自由な世界じゃ生きていけない
座して死を待つ事なかれ主義
抜け駆け出る杭 絶対許さない 負の連鎖
内で媚売る術なんかより 外で獲物を捕らえる力を
沈むムラから生き残るには 誰よりも早く飛び出す勇気を
今まで信じた楽園ない 守ってくれた檻ももうない
護送船団 安全神話 とっくの昔になくなって
現状維持の従属だけでは この先、生きていくことできない
依存体質抜け出す覚悟 自由な世界へ飛び出せばいい ユートピア

人生交差点

ずっとひとりぼっちで生きていくことが当たり前と思ってた
まさかこんな私に 運命の人 出会って驚き いつか終わりがくるなんて
思いもしなかったなんて嘘、ウソ、うそ、予感してた
もう二度と重なることない二人だけど 同じ空の下で生きている
いつかどこかで偶然道でばったり会えること 夢見ながら町 歩いてる

会うたびにいつも君はペットボトルを
お守りみたいにカバンに入れてた さみしい気持ち まぎらわすかのように
つよがっていても 何かにすがりつきたい 本気で人を好きになるなんて
思いもしなかったなんて嘘、ウソ、うそ、ずっと求めてた
ほんのちょっぴり人生の時間 重なったレール
ずっとこのまま手を携えて一緒に行きたい
でもねごめんね やがて分岐点 別々の道をバラバラで歩いていく
毎日見ていた君の顔 今はおぼろげな姿に
どんなに忘れないと思っても 時ともに記憶は次第にあいまいになってく
短い間ともに過ごしてくれてありがとう
もう二度と会えなくなったとしても
思い出だけは決して変わらない サヨナラしても 心の中に生き続けている
いつかまた生きてる限り会えるはずと 信じて今を生きている
もし縁あればまた道重なる 関係は違っても
未来は誰にもわからないから 信じた道をただ歩いてく 人生交差点



からまわり

誰かに認められたいと 必死でがんばっていたのに
ただ空回りするだけ 虚しさばかりが募っていく
他人の評価ばかりを 気にしすぎて自分なくしてた
ドジでマヌケな私を 誰か救ってくださいって
ちっぽけなプライドを捨てられず
しがみつ き からまわり 何にもできない
いつまでも このままじゃ いけないって 誰か思ってるだけ
ここではないどこかに 自分の居場所があるはずだよと
探し求め続けていたけど どこにも見当たらない
自分が変わらなければ どこに行っても変わりはない
ダメダメダメな私と 自分を責めても落ち込んでしまうだけ
心のブレーキとっぱらい 人生のアクセルを踏み込んだらいい
バカ者と呼ばれても ごまかせない気持ち素直になれ
人と比べてばかり できないことばかりって
口先だけ達者になってた
100の言い訳よりたった1の行動 見える世界 様変わりをしてく
ここではない理想郷 探して さまよい
そんなもの どこにもなかった 忘れてたあの夢を思い出して
逃げずに 向き合っ て 突き進めばいい
一歩ずつ わが道を踏みしめて 歩き続ければいい 自分を信じて

Over the Rainbow

できない理由を見つける天才　できる方法を1ミリも考えなかった
夢を語るなんてバカげた妄想　そうやってかっこつけて　自分から逃げ続けていた
誰も自分に注目してないのにビビって　人の目気にして　気を使いすぎて袋小路
プライドばかり高くて　頭でっかちで動けない
何もせずに　いつまでもグダグダしてるんじゃない
てめえの腐った心を　自意識過剰な気持ちを
捨てる　捨てる　くだらねえ心を撃ち抜け　Over the Rainbow

「時間がない」といういつもの口ぐせ　忙しさアピールしてまるで芸能人気取り
政治家みたいに本気でしたいことを　先送りしてたらオオカミ少年になってた
スマホ片手にネットニュースに夢中になり　世の中　陰謀論でわかった気になってた
時代や社会のせいにして　自分じゃ一歩も動けない
誰も君のすねた気持ちなんかどうでもいい
悲劇のヒロイン気取っても　誰もあんたのこと助けやしない
マジで生きろ　死ぬ気でやりたいことやってみろ

災害　戦争　突然の悲劇　人生の最終期限
自分じゃ決めることできない　だから
たった一度の人生を　やなことばかりに追われて
無駄に過ごし　生きてる意味なんてどこにもねえ
自分のハンドルにぎって　行きたい場所に行けばいい
どこのゴールめざすかは自分自身で決める　Over the Rainbow

I love I

みんなのためにワタシはガマン そんな自分がエライと思って生きていた
周りがいいなら 自分 後回しでいい
それですべてがうまくいって思い込んでた
でもねホントはワガママいいたかった 嫌われるのが怖いからいえなかった
I love I I love I いい子ぶりっこ ずっと演じてた
I love I I love I ええかっこしないで 本音の自分さらけだせばいい

脇役でいい 主役にならなくていい 引き立てるのが役回りだと思ってた
裏方になりガマンにガマン重ね 尽くしてるのを酔いしれて満足してた
いい人ぶって本音を押し殺してたら 都合のいい使いっぱになり下がっていた
苦しくて悲しくて 何にもうまくいかず ちっともつまらない
いい人を演じてた
そんな自分に嫌気がさして 生きるのがつらかった

いつからいつからこんないい子になっちゃったんだろう
もうやめようやめよう 無邪気に楽しむあの頃へ戻ろう
I love I I love I 嫌われたっていい 自分を一番に
I love I I love I 演じるのをやめて 本当の気持ちに素直になろう
I love I I love you you love I

Fly into the sky

自分探し続けて どこまでいっても 見つからない日々
それなりの人生を 歩んでるはずなのに 物足りなさ感じてる
いつまでも先が見えない いつまでどこまで 走り続けたらいいんだろう
狭いセカイを必死になって 駆けずり回ってた毎日
一日終われば 倒れ込むようにしてまた日が終わる
Fly into the sky 視点を变えて 俯瞰してセカイを眺めよう
空から見下ろせば どんな悩みもちっぽけに思えるはず

まじめだけが取り柄で 人からの頼まれ事 断れない毎日
常識という名前のくだらない法則に 縛られて動けない
いつかきっとしたいことを いつまでたっても 先送りして逃げ続けてる
イヤだと思うこと全部やめて 好きなことだらけにしよう
一歩でも進めば 今まで見たことないパラレルワールド
ブレーキをゆるめ アクセル全開で 違うセカイへ飛び立とう
想いを解き放て 息苦しさに疲れ果てた 心自由に
まだ見ぬセカイ 旅して回って 自分の狭さ 気づかされて
目の前に広がる セカイ一挙に広がったんだ

Fly into the sky 視界を広げ 広いセカイへ旅立とう
一度きりの命だから 出し惜しみの人生じゃつまらない
おんなじ道の堂々巡りをしてないで一歩踏み出そう
見方を変えれば同じセカイも様変わり
飛べ 飛べ 飛べ 飛べ 飛べ

stay in balance

終わることのない 人という定め負わされ
何のために生きてるのか わからないけど惰性
ねばならないことで予定は埋め尽くされていく
いつか自由気ままに 羽ばたく夢見て

changing the mind 困われた壁取り払え

縛りつけた足枷は 自分で望んでつけている 心の国境線を乗り越えろ
突き進め ゴールめざし 旅路の果てに

できない自分を演じて 弱者気取ってる
弱いふり かわいそう 同情で自己満足
でもいつかでかいことを成し遂げたいんだ
心を揺さぶる トキメキ求めて

stay in balance 危うい均衡の中で 落ちないように 両手広げ
全力疾走駆け抜ける

going around 広い世界に飛び出して
解き放て ちっぽけな 不安や悩みを
隣の芝生ばかり見て 比べて落ち込んでる場合じゃないんだ
ただ目の前の自分の道を 切り拓いて 進むだけなんだ
時を忘れて夢中になればいい

changing the mind 動き続けなければ
夢みたいな理想郷にたどりつけるわけない

いつまで自分探し続けても 見つからないよ自分なんて
一人の世界にこもっても

going around 狭い世界を飛び出して 突き進め 自分の夢に たどりつくまで

明日にもなくなる肉体と魂

人の顔色をうかがいビクビクしていい人って言われ続け

自分の思い置き去り

嫌われたくないために我慢し続けてきた

でもね気づいてしまった 見返りはどこにもない

他人の顔見て生きてきた私を 今からサヨナラすると決意して

自分の本音を一番に聞いてね 心から楽しい生き方へ

心の奥底に閉じ込めた想いを空に解き放て 我慢をしなくていい

誰かに遠慮することない ブレーキかけなくていい

恥ずかしがらなくてもいい したいことを素直に

明日にもなくなる肉体と魂 生きてるうちこそやりたいことを

死を想い 限りある時間しかない人生 自分のために生きる道を

イヤなことなら吐き出せばいい 明日への原動力にして

ネガティブもポジティブも抱えて進んでいこう

自分の人生 自分に取り戻せ 世界の主役はあなた自身

誰かに嫌われ 縁が切れてもいい 新しい出会いが巡ってくるから

無理して背伸びをして生きることない 自分の気持ちに正直に

誰にもかっこをつける必要ない

あなたはあなたの道をいけばいい 命続くまで

忘れゆく 3 1 1

あの日に起こった大きな地震の記憶薄れ
あたりまえの毎日のありがたみ忘れて 愚痴ばかり
すべてを失う おそろしさ
他人事でないのに他人事でいる
あれほどの地震が起きても 人はすぐ忘れゆく
あなたが近い未来の 被災者になろうとしても
生きてることは奇跡 奇跡
二度とは戻らない今はかえがえのない時

みんなで助け合う時なのに いがみあいばかり
醜い争いや欲望うずまく被災現場
被害の違いの温度差に 悩まされて心がおかしくなる
災害は忘れた頃にいつかやってくるけど
時が過ぎ あの時感じた 大切なもの見失い
日本は変わった価値観が変わったはずなのに 忘れて
過ちをまた繰り返していく
明日死んでも悔いのない人生といえるかい？
あなたの日常はかえがえのない奇跡

空想ロケット

どこまでもつながってる 青空を飛んでゆけば
世界中 旅するの 夢物語なんかじゃない
待ちわびたオトナになる 縛りつけられたコドモから
操縦席のハンドルをつかんで人生の司令塔へ
親のしめつけに翼傷つき 飛べないと思い込まされ
でもねもう自由だ はれてオトナの仲間入り
夢のセカイをめざした空想ロケット 未知なる未来を手にするため
想像の羽のばし ワクワク感をエネルギーにして
誰にもジャマされないためには 誰にも負けない情熱持て
好きな絵を描けばいい 真っ白なキャンパス彩ってく
決められたルール 気にせずに 突き抜ける 駆け抜ける spirit of adventure

人生の宝物を探す旅に出ているかい？
危険だとこわがって いつまで立ち止まっているの？
万全の準備できるわけがないからすぐ行こう
冒険に出て武器を集めて強くなればいい
次々と現れるハードルを 無様でも泥臭く飛び越え
何度ミスしてもいい 100回目でクリアすればいい
つまらぬオトナを横目にみて 夢中で好きな絵 描き続けてく
情熱は不可能を可能にできる武器になる
ジャマするドリームキラーいても 勇気と覚悟で追い払えよ
くだらない戯言に惑わされる必要ない
思い描く理想郷イメージして 空の上の王国を exciting adventure in the sky

情熱スマッシュ

憧れの晴れ舞台に立つこと 夢見てきた
毎日毎日練習に明け暮れ ひたむきにただ繰り返して
活躍するイメージと ミスするイメージの狭間で
誰よりも一番でいたいって気持ちもって
負けたくはない めざすは人生の金メダル
全力を出しつくせ 手加減なんて必要ない
記憶に残る感動のスマッシュ打ち込めばいい

青春時代のように 無邪気になれる仲間たち
一円にもならず たかが遊びだって 人生楽しむために
大人になって夢中になれるものに出会える幸せ
くだらない遊びだって真剣勝負 全力で
勝ちにいけ めざすは遊びの金メダル
仕事だけ家事だけの人生なんてつまらない
好きなことを見つける子供心持ち続けて
人の目を気にして 我慢しても意味ない
生きているの数十年だから ワクワクできるものに
楽しいこと楽しめる 純粹な気持ちもって
悔いのないめざすは人生の勝利者
下手だって好きならば努力できうまくなる
心にある情熱のアクセルを踏み込めばいい



一人より二人

一人で生きていくと決めたのに

ほんとはさみしい 誰かにすがりたい

永遠なんてないってわかってる

たとえ短くても 手を取り合いたい

いつか一人になったとしても あなたと歩いた道忘れない

一人がいいなんて強がらずに 誰かと寄り添ってもいい

一人より二人の方が喜びは2倍になるから

人を信じて 裏切られてきて もう信じない 誰も頼らない

一人ですべてできると信じて 抱え込みすぎて 我慢の限界

無理して孤独好きのふりするより

誰かに助けを求めてもいい

一人だけで生きていこうって 強がらず頼ってもいい

一人より二人の方ができること2倍になるから

誰かに強く抱きしめてほしくてさみしくて仕方がなかった

誰にも理解されない あきらめてたけれど出会ってしまった

人生に伴走者いれば心強く進んでいける

ともに歩む人がいれば後ろ向かず進んでいける

いつまで続くかわからなくても

今日からは二人で行こう あなたとなら一人より二人がいい

さよならカミサマ

カミサマカミサマずっといっていると信じてた どこにもカミサマいないとみんな気づいた
祈りでヘイワが実現できるなら この世はとっくに平和になってる
この世にカミサマいない いるなら何万もの人が死んだ震災など
起きない起きない カミサマ無力
この世にカミサマいない いるなら大切な人を病気で殺しはしない
非情なカミサマ 祈りも届かない

神頼み神頼み他力本願なだけ カミサマを信じるのは思考停止の証
祈ればいいのか 拝めばいいのか 戒律を守っても幸せになるのか
カミサマ派閥争い 平和になるどころか戦争だらけ
いらぬカミサマ あなたの存在が紛争の種
悲劇や苦しみを試練といいかえて 悲しみを無理やり受け入れさせてく
それがカミサマの役割なんですか？
カミサマはニンゲンが作り出したつくりもの ゴージャスな建物で威圧して洗脳してる
ホンモノのカミサマとは一人ひとりの心 悲劇を救うのはカミサマじゃなくてニンゲン

カミサマにすがりついても
テロ戦争疫病災害事故なくならない なくなるわけない
平和や幸せをつくるのは人
祈りを捧げるよりも 目の前の課題を解決するため動けよ
ニンゲンを救えるのはニンゲンの行動だけ
カミサマさよならあなたはもう頼りはしない 今日からは自分を信じて生きていきます
さよならカミサマこれまでありがとう 私やあなたがこの世を救うのです

承認欲求

さみしさ誰かにかまってほしくて ミスや弱音をアピールしてた
弱さを演じて逃げ道つくって できない自分を正当化
たくさんの「いいね」をもらっているのに 数が増えても満たされない
人の評価をもらうために生きても 心の底から楽しめない
自分じゃない誰かに答え求めず 自分で自分をほめればいい
尽くすのは人じゃなく自分自身

誰かに認めてもらいたくて 自分殺して尽くしてた
おまえはダメだと言われ続けて 自分ダメだと信じてた
夕暮れ時の真っ赤な空見て 物悲しくて涙あふれる
ここではないどこかに幸せ求め さまよい続けて苦しくなる
どこにもない大きな幸せよりも 目の前の小さな喜びを
一つずつ積み上げてゆけばいい

子供の頃 親の愛をほしかった だからいい子にふるまい
いつか親に認めてほしい 顔色をうかがい おそれて生きてた
嫌われないようにしても好かれない 気にせず本音で生きればいい
満たされない思いを強いバネにして やりたいことを貫けばいい
我慢や遠慮をしなくていい 自分の心の声を聴け

親離れ

ママがいなければできなかったこと 今自分でできるように
まだ子供だけど いつか大人になったら 私はジャマになる
少し前まで 赤ちゃんだったのに 時の流れは早すぎて
今は生意気な言葉も言えるくらいになってる

トイレに行くのもできなかった あなたはどこでも行けるように
食べることもさえも手伝わなきゃ できないあなたはもういない
どこに行くのも だっこしてたのに いつのまにかあなたは
私とおんなじ身長になるほど大きい

私がいなくちゃ生きていけない あなたはもう一人で生きてける
ずっと生活をともにできる時間は わずかしかないんだね

昔の写真をながめては 小さなあなたを愛しく思う
成長するのはうれしいけど もうすぐあなたは離れてく
あなたはあなたの道をゆく 私は遠くで見守ってる



普通の人

飛び抜けた才能 何もなく どんなことも無難にこなし
見た目も仕事も学力も すべてそこそこ 目立たない存在
隣の芝生が青く見える いつも誰か妬んでた
ないものねだり 足りないものを必死に探し続けた
大それた夢もなく ただ普通に生きていく
無理に背伸びしなくていい 等身大の幸せでいい

ドラマティックなこともなく ありふれた繰り返しの毎日
特別な出来事に期待しても何も起きなくて安心
誰かと違う優越感持てず 一人落ち込んだふりをして
でもほんとは今のままで十分 満足していることに気づいた
特別な経験なく とりたてて実績もない
どこにもいる普通の人 それで幸せ 負け惜しみじゃなく

可もなく不可もない自分に不満をいだいて ずっと生きてきた
大きな夢を描けず 悩んでいたけれど 小さな幸せみつけた
有名にならなくてもいい 何か使命を持たなくてもいい
自分の仕事と自分の家族を大切に育ててく
普通すぎる人だとしても最高の幸せがある

負け犬の歌

最悪のシナリオを考えては落ち込んでいた
内に秘めた情熱をしたまま生きてきた
負け犬で終わる 未来を切り捨て
かっこつけてないで生き様をさらせ ぶっとばせ本音を
嫉妬 執着 怒り
負の感情をプラスに 転化して解き放てばいい

成功者うらやましく 努力もせず批判続ける
あいつより俺の方ができるはずと何もせず
負け犬のごとく遠くで吠えてる
人と比べてる 暇あるなら 100回素振りをすればいい
かっこわるい自分 みすぼらしさ気づいて 悔しさバネにすればいい

無理だと思っていた その道 見えてく
あきらめかけた その夢が目の前に
かっこつけてないで 高すぎるプライド捨てて本気で
ひがんでいないで 血眼で死ぬ気でやってみろ 勝ち犬になれ

旅人

歩き疲れ たどりつけない どこにもない ゴール探してる
秘境求め 旅を続け 探し回る 理想の桃源郷
人の群れ 巻き込まれ 見失う空に
人を避け 人いない 場所探し続け
広い広いこの世界で 自分だけの居場所探し
青い空と青い海と風と波に心洗われ

持て余してる 内なる衝動 やり場もなく 旅にぶつめた
町や国を 次々と 移動していく 快感酔いしれ
出会いあり 別れもあり 人 入れ変わっていく
しがらみや 仕事もなく 浮遊感に浸る
広い広いこの世界で 自分だけが浮いている
果てしのない地平線 ゴールのない旅 続けて

死にたくても死ねない
生きたくても 生きづらさ感じて生きてる
最高の死に場所を 探し求め 町を渡り歩く
広い広いこの世界で ひとりぼっちの私がいる
次々と景色変わる 開放感 味わいながら 旅続ける

Say yes

今日よりも（今日よりも）明日の方が（明日の方が）
いい日だと（いい日だと）信じればいい
音楽で（音楽で）楽しんで（楽しんで）
前向きに（前向きに）生きられてたらいい
どこまでも（どこまでも）続く道（続く道）
前に（前に）進め（進め）

Say yes（Say yes） Say yes（Say yes）

Say yes（Say yes） Oh Oh

Say yes（Say yes） Say yes（Say yes）

Say yes（Say yes） Oh Oh

Say yes（Say yes） Say yes（Say yes）

Say yes（Say yes） Say yes（Say yes） Oh Oh

切り裂きジャック

私を認めて 私を愛して
私をみつめて 私だけを愛して
心のナイフを 闇雲にふりまわし
人を傷つけ 自分も切り裂く
悲しいね 悲しいね 人も自分も愛することできない
誰も愛することができないくせに 誰よりも人の愛に飢えてる

私が一番 誰にも負けたくない
人を蹴落とさなきゃ私は消えてしまう
人との関係は勝ち負けだと教わり
戦うことしかできない つらくても
さみしいね さみしいね 人も自分も信じることできない
誰も信じることができないくせに 誰かを信じて生きていきたい

人を傷つけることでしか 自分の存在を示せない
愛されたい 愛されたい 人にけなされ続けてきた人生を
人をけなし続ける人生にしても 誰もあなたのことは愛さない
愛されたいなら 心のナイフを しまいなさい

仲間

いつも一人で動いてたけど 仲間とともにするチャレンジを
人が増えれば 面倒なことも増えると思い 避けてきたけど
一人ではできない表現が 仲間とならできる喜びを
かみしめて 続けてきた
たった一度のライブのために駆け抜けてきた
音楽でつながった 仲間たちとの絆
いつかこのメンバーで またライブをやれたらいいね

バラバラだった仲間集まり 1つの曲を作り上げるために
何度も何度も練習を続け たった1度の晴れ舞台めざし
それぞれが一匹狼 集まればすごい力と信じて
届けたい 伝えたい 一人じゃできないこと
仲間とだからできること
また別の 道を歩む でもねいつか集まり
仲間と奏でる音楽 また一緒に集まってやろう

ママと共依存

物心がついた時にはずっとママがそばにいて
大好きなママのためにがんばるだけの生き方
ママのためママの夢叶えるのは私しかない
ママの期待背負い続け苦しくなってる
ママの機嫌うかがい続け苦しくなってる
ママ ママ ママ私を自由にして

あなたのため尽くしてるのそれがママの口癖
優等生を演じることが私の人生の使命
誰よりもママのためたとえイヤでも断れない
大人なのにママの呪縛解くことできないまま
どんなこともママの許可を得なくちゃできない

もういやだよママの人生私の人生奪わないで
苦しいのは私だけじゃない苦しいのはママもだった
すべてママのせいにすれば自分がラクして生きれる
ごめんねママ気づいてしまった縛っていたのは私
ともに縛りつけることで生きる意味を見出していた
ママ ママ ママ私が自由にしてあげる

新緑

苦しんだ 長い冬の時代 終わりつげ あたたかな春の兆し訪れ
陰ながら 努力続けてたこと実り 世の中に生み出せたうれしさを
たえしのんだ つらい日々乗り越え
次々と次々と 夢叶う喜びかみしめ
新緑の木々が豊かに 青空にはえて町を彩る
希望に満ちた夢の散歩道

道端に咲く小さな花 存在に気づかれず ずっと咲き続けてる
いつの日か誰かの目にとまること信じ 精一杯 美しい花広げ
ふみにじられペしゃんこにされても
あきらめずにあきらめず 立ち上がっていく強さを
夢の花 咲かせるために 夢のたねまきしてきた春に
喜び満ちた夢の花畑

隠された地面に深く根をのばせば どんな逆境にも負けない
強い花が強い木々が まっすぐにのびてく
新緑の木々が豊かに 心地よい風にふかれ
今日も希望に満ちた夢の散歩道 夢の花を町に咲かせよう

波音ラブソディ

仕事を抜け出し 海に向かった
誰にもジャマされない 一人の時間を
波音に悩みを打ち消させ 海風に叶わぬ思い吹き飛ばせ
打ち寄せる波を見続け 心のモヤモヤ洗い流せ
足かせの靴を脱ぎ裸足で 心の縛りを解き放て
海、空、雲、波、風、砂 手伸ばし 深呼吸を
くだらない日常 すべて 波と ともに消し去っていけ

小さな石を波に投げていく
自分の運命占うかのように
繰り返す波音を聞きながら ぐちゃぐちゃの心洗い流してく
こんなにがんばっているのに 報われない思い海に叫べ
誰にも言えない悩みを 一人海で浄化していく
一人我慢ばかり しても つらい 人生だから
海にしがらみ捨て 好きなように 自由に生きればいい

死者の町

宇宙の果て 心の果て この世の終わりに 廃墟が続く町

限界 退廃 バブルの栄光

革命は起きない 破滅へ進め

死なない体 永遠の命 暗闇光る自動販売機

ハイスピードで行進していく

足音聞こえない無言のキャラバン

あーあ あーあ どこまで行けども死者の町

雲の上ゆく摩天楼ビル 地上に蠢くヤドカリの群れ

乱高下する仮想チャート 空中回転するパトリオット

戦争は起きない 快楽に沈め

地球の果て 栄光の果て この世に隠された 秘密の地下神殿

魔法の石箱 爆発して光輝く

天罰は起きない 汚れの道ゆけ

自殺志願者 うつ病患者 行列できる宝くじ売り場

地球外コロニー 砂漠蜃気楼 時が止まった昭和商店街

あーあ あーあ いつまでも愉快的なディストピア

きらめき

どんよりとしてる灰色の世界 ねばならないことに追われて疲れ果て
頭の中ぐるぐる悩みが マイナス回転し続け落ち込んで
扉を開ければ まばゆい日差しきらめき
あたたかい風が 生きてる 生きてる 生きてるって感じさせた
この世界は輝いてた 暗い雲つらなるすきまから 太陽がまぶしく大地に注ぐ
まばゆい光 別世界 天国に変わる魔法みたい
暗い闇を照らす一筋の光の道 希望の光

変えられない過去 つらい思い出 いつまでも人生の足を引っ張り続け
過去のトラウマ加害者にして 不幸な自分演じて満足していたけど
心のカーテンあけて窓を眺めれば
明るく強い日差し照りつけ 世界を輝かせ闇を溶かす
この世界は輝いてた 小さなドブ川の水面にも太陽の光がきらめいている
やわらかな陽射し包む 街も人もそして自分も
暗い過去も暗い今も光で消し去ってくれる 希望の光
モノクロームの世界が色にそまってく
フルカラーの世界へ変わってく 変わってく 変わってく
河川敷に座り空を眺めてたら気がついたんだ
動かないと思い込んでた雲が動いてる
どんなに分厚い雲でも時と風が吹き流して
待っていれば隠れていた太陽が姿現す 希望の光
素晴らしい世界に生きてる きらめきみつけて

ないものねだり

みんな輝いている 自分だけ輝けてない
すぐに変わらなくちゃと もがき苦しみがんばってた
ほんとの自分を隠して 小さな嘘を重ねていき
自分じゃない誰かを必死で演じてた
背伸びしなくていい 等身大でいい 無理することより正直でいたい
マイペースでいい焦らなくていい 人と比べて落ち込まなくていい
できることからはじめていけばいい

なんのとりえもない ただの人ではいたくない
みんなに負けたくない 仲間外れになりたくない
一人だけ遅れたくはない 流行に追いつかなくちゃと
自分じゃない誰かに無理やりなりきってた
嘘でぬりかため つよがってみせて
キャラでもないこと がんばって生きてた
楽しくなくても楽しそうなふり 自分の気持ちごまかして生きてた
早くほんとの自分取り戻したい
誰にも弱みをみせてはいけない 誰もが無理して我慢を続けてる
心のスキマうめるために
いつまでもいつまでもいつまでも お金で解決しようとしてた
優雅な生活 演じたとしても 幸せになれないと気づいてしまった
ないものねだりをしても得られない 今あるもので満たされれば幸せ
背伸びしなくていい 等身大でいい 無理することより正直でいたい
マイペースでいい焦らなくていい 人と比べて落ち込まなくていい
できることからはじめていけばいい 今の自分を認めてあげればいい

夢舞台

誰よりも強く 誰よりも速く 誰よりもかっこよく
子供心に 夢見ていたのは 遠い昔の出来事
自分に才能なんかない トップになるのは夢物語
普通が一番 努力もしないで 勝手に夢あきらめてた
ガムシャラにがんばって 失敗したら 笑われる恥ずかしい
余力を残して 余裕を見せたい カコンロトール
遠慮してたら 70%の力しか 出せなくなってた
こんなはずじゃないって 気づいた時には もうすでに手遅れ
誰だってみんな 一番になりたかったのに
大人になると 二番でいい 三番でいいってなぜ
今まで費やしてきた莫大な時間を無駄にする気かい？
弱いキモチじゃ二番にだって三番にだってなれはしないのに
夢のような晴れの舞台に立つこと目標にしてきたのに
何十万回って練習してきたこと水の泡ですかい？
一生懸命がんばる姿かっこわるいことだなんて
周りの目見て100%の力出せないのもったいないからTry Try Try
一度も全力出さずに負けてく 一度でいいから本気で力を出し尽くしてみろ
本音ごまかしやりたいことから逃げ続けてる負け犬人生
完全燃焼できない不満な人生におさらば
チャンスものにし晴れの舞台で活躍できる準備を
どんな時でも全力尽くして死に物狂いでやってみればいい
うまくいかない姿イメージして言い訳する人生じゃなく
成功するプラスのイメージ何度も再現すればいい
絶対負けないキモチ 一番になるのめざしてみれば
二番か三番になるかもしれないから目の前全力疾走 Try Try Try

勸善懲悪ヒーロー

弱き者を救うヒーロー気取り 上から目線で机上の空論
許せない できすぎた悪 怒りを放てば 勸善懲悪ヒーロー
誰もが正義かかげ 偽善者になって
この世の悪をこらしめるために傷つける
誰かを悪者に 仕立て上げて叩けばみんな幸せいじめの論理
正義のためにどんな手段でも許される 暴力 暴言 人の心をえぐるヒーロー
誰もが被害者ふりして加害者 かわいそうという同情で戦う
弱さを武器にして 弱者を気取った勸善懲悪ヒーロー
悪役作り出せば 正義の味方なれる 安全地帯から匿名攻撃
話し合うことよりも お互い潰し合う生産性のない罵倒するバトルを
世界平和のために最強の戦力で
人を傷つけ悪をねじふせる正義のルール
聞く耳もたずに正義ふりかざし 議論に勝ち負け求めて戦う
叩き潰す正義の剣
誰かのためのふりし 誰かのためじゃなくて 自分をアピールしたいだけの正義
正義と悪魔の二つで 分けられないのが現実 絶対善も絶対悪もない
勝利も敗北もない どちらも正義じゃない
打ち負かすことじゃなく戦う愚かさに気づいて



才能とは持続する情熱
寝食忘れて夢中になれるものを
<https://mv.kasako.jp/>

メッセージソングライターかさこ

